

連載

# 放射線科では AI Chatは こう使う!

昨今、高性能なサービス等が出現し、注目される生成AI。日々忙しい放射線科の業務の一助となるべく、AIでの使用方法等について、エキスパートに連載でご執筆いただきます。

第1回

伊藤倫太郎

名古屋大学大学院医学系研究科  
革新的生体可視化技術開発産学  
協同研究講座 特任助教

先生が実際利用されている  
「AI Chat」(「ChatGPT」等)と  
その概要について教えてください

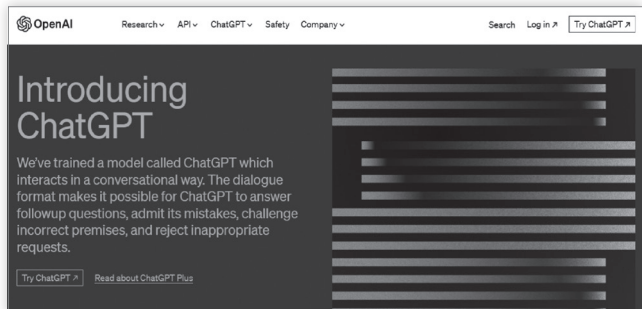


※上記画像は伊藤先生がAIで生成した物です。

## ChatGPT

OpenAIによって開発された最も有名なAI Chatサービスです<sup>1)</sup>。GPT-3.5をベースとして動いています。一般的な知識から専門的な知識まで幅広く回答してくれるサービスです。他のサービスより全体にまとまった破綻のない返答を行う印象です。情報の由来が2021年までに限定されているとされるので、それ以降の最新の情報の正確性は欠けます。認知度が高く、活用方法についてはたくさん記事があります。レスポンスに関しては他のサービスに劣ります。

1) Introducing ChatGPT. <https://openai.com/blog/chatgpt>.



## ChatGPT Plus

上記のAI Chatサービスの有料版です。通常のサービスに加え、GPT-4を使ったより高度な応答が可能です。それに加え、インターネット検索、データ解析、ソースコード作成、画像作成・画像入力が可能です<sup>2)</sup>。レスポンスはGPT-3.5バージョンでは高速です。GPT-4.0バージョンではすこし遅めですが、他のサービスにはない柔軟性と応用性があります。

2) Introducing ChatGPT plus. <https://openai.com/blog/chatgpt-plus>.

